

① 制度の概要

技術課題や社会課題の解決に資する多様なシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発を通じて募り、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘することで、共同研究等の機会創出、シーズの実用化、事業化の促進をねらって実施する制度です。

本プログラムでは「GENIAC-PRIZE」として3領域4テーマを設定し、これらを実現する生成AIに関する技術開発・社会実装の取り組みに対して懸賞金を供するコンテストを実施します。

② 支援内容

□ 国産基盤モデル活用AIエージェント

製造業の暗黙知形式知化・カスタマーサポート生産性向上の2テーマ

最大5,000万円

賞金制: 上位3位まで

□ 官公庁業務効率化AI

審査業務等の効率化に資する生成AI開発

最大1億円

賞金制: 上位3位まで

③ 対象となる取組

【国産基盤モデル活用AIエージェント】

- 製造業の暗黙知を形式知化するAI開発
- カスタマーサポート生産性向上AI
- 国産基盤モデルを活用した実証

【官公庁業務効率化AI】

- 特許審査業務の効率化AI開発
- 大量情報データベース探索AI
- 審査結果分析・判断支援AI

【AI安全性確保技術】

- 生成AI安全性リスクの特定技術
- リスク低減技術の開発・実証

④ 対象者

- 日本国内の法人（企業・大学・国研等）
- 官公庁・地方公共団体等の団体
- 個人（開発者として領域1のみ対象）

⑤ 採択率向上のポイント

- **技術的優位性の明確化**: 従来技術との差別化ポイントを具体的に提示
- **社会実装への道筋**: 事業化計画と市場規模を明示
- **実証体制の充実**: ユーザー企業との連携体制構築
- **デモンストレーション**: 動画による技術実証の訴求力

⑥ 戦略的分析

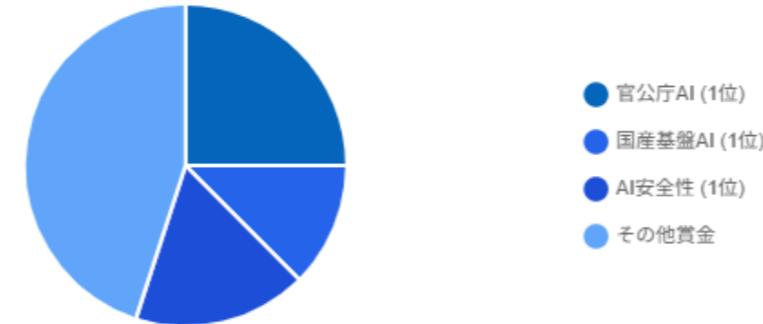
【領域別戦略アプローチ】

- **官公庁領域**は最高賞金1億円で競争激化
- **国産基盤モデル活用**は政策支援が手厚い
- **AI安全性**は新興領域で参入機会大

【段階的なステップアップ戦略】

- **トライアル審査**を活用した技術検証
- **マッチング機会**でユーザー開拓
- **審査員特別賞**狙いで露出拡大

⑦ 懸賞金構成比



総懸賞金額（2025-2026年）: 約8億円の大規模プログラム
平均賞金額: 約4,600万円（1位受賞者平均）

⑧ 技術領域と実装例

| 技術領域 | 代表的な実装例 |
|-----------|------------------|
| 製造業暗黙知 | 熟練工ノウハウのAI化・技能伝承 |
| カスタマーサポート | 問合せ自動応答・課題解決AI |
| 特許審査 | 文献探索・類似性判定の自動化 |
| AI安全性 | バイアス検出・有害出力防止技術 |
| 国産基盤モデル | 日本語特化・プライバシー配慮AI |

⑨ 専門家活用のススメ

- **AI技術専門家**: 最新技術動向と差別化ポイントの明確化
- **事業戦略コンサル**: 市場分析と事業化計画策定支援
- **知財専門家**: 特許戦略と技術保護の助言
- **プレゼン専門家**: デモ動画制作と審査対策

⑩ 必要書類とチェックポイント

| 提出書類 | チェックポイント |
|--------------|---|
| 取組概要（応募フォーム） | <input type="checkbox"/> 選択テーマの適合性を明確記載 <input type="checkbox"/> 体制図でユーザーと開発者明示 <input type="checkbox"/> 利用する基盤モデルを具体的に記載 |
| 提案書 | <input type="checkbox"/> 技術的優位性と横展開性を具体化 <input type="checkbox"/> 導入メリットを定量的に提示 |
| デモ動画 | <input type="checkbox"/> 実際の動作を分かりやすく実演 <input type="checkbox"/> 技術の革新性を視覚的に訴求 |

⑪ 申請スケジュール

事前準備期間

技術開発・実証に6~8ヶ月程度。ユーザー企業との連携調整が重要。
Slackコミュニティでマッチング支援あり。

応募受付期間

2025年5月9日～12月15日

専用Webサイトからの応募。
※領域により締切が異なるため要確認。

審査期間

2025年12月下旬～2026年2月（予定）

表彰式

2026年3月（受賞者発表・表彰）

懸賞金交付

2026年5月

表彰式後の成果普及イベントも実施予定

⑫ 問い合わせ

| | |
|--------|---|
| 制度詳細 | https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100402.html |
| 専用サイト | https://geniac-prize.nedo.go.jp/ |
| お問い合わせ | NEDO AI・ロボット部 担当者: 石井、高草木、新 |
| | ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailでお願いいたします。 |